

# ヒグマ被害

知って防ぐ

ヒグマによる事故を防ぐには、遭遇を避ける行動と正しい知識が欠かせません。市民ができる被害防止のポイントや通報の目安を紹介します。

【詳細】環境総務課☎25・9790



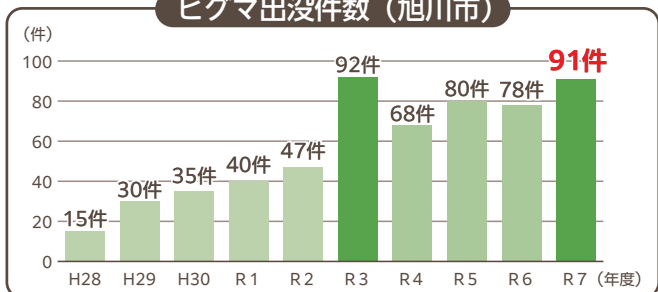
## 市街地にも潜む危険！ 今日からできる身を守る方法

### ① ヒグマ情報を日頃からチェック

市庁や「ひぐまっぷ」を定期的を確認し、最近ヒグマが出没した場所には近づかないようにしましょう。



ひぐまっぷ



### ② 夜間や薄暗い時間帯 (早朝、夕方など) は特に注意

ヒグマの活動が活発な夜間や薄暗い時間帯 (早朝、夕方など) に山や森、過去に出没のあった場所には入らない、近づかないようにしましょう。過去5年間の出没状況は「あさひかわデジタルマップ (旭川市公開型GIS)」で確認できます。



あさひかわデジタルマップ

### ③ 明るい時間帯でも油断しない

明るい時間帯でも、山や森ではクマ鈴などで音を出す、クマプレー等の装備を整える、2人以上で行動するといった対策を行きましょう。

### ④ ごみの管理の徹底

食べ物・飲み物の匂いはヒグマを引き寄せる原因になります。屋外で食べ物の容器や生ごみなどを放置せず、ごみ出しのルールを守りましょう。

### ⑤ ヒグマについて正しい知識を身に付ける

ヒグマの行動や習性を理解することで、危険を未然に防ぐことができます。市では町内会や学校などを対象にヒグマに関するセミナーを行っています。また、市民向け (仮称) ヒグマシンポジウムを開催予定です。ぜひ参加して、安全に役立つ知識を身に付けましょう。



### ⑥ ヒグマかな?と思ったら

ヒグマを目撃したときやふんや足跡などの痕跡を発見したときは速やかに引き返して、その場から離れましょう。

また、ヒグマの目撃や痕跡に関する通報は、被害防止につながる大切な情報です。目撃や痕跡発見の際は速やかに通報してください。

通報先	
平日 8:45~17:15 環境総務課☎25・9790 または最寄りの警察署	左記以外の時間帯 最寄りの警察署

### ヒグマの痕跡

北海道にはヒグマのほかエゾシカやキツネなど多くの野生動物が生息しています。ヒグマの痕跡を見分ける際の参考として、ヒグマや他の動物の痕跡を紹介します。

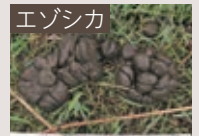
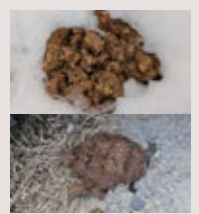
#### 足跡の特徴

- ヒグマ**
  - 横幅10~16cmほど (大人の手のひらは7.5~8.5cmほど)
  - 肉球が大きく肉厚
  - 土の上だと爪跡も確認できる
- 他の動物**
  - キツネの足跡は横幅5cmほどで一直線につく
  - エゾシカの足跡は縦長で、長さが7cm横幅は6cm程度、ひづめの形が確認できる



#### ふんの特徴

- ヒグマ**
  - 泥状で直径20~30cmほどの大きい塊となることが多い
  - 食べたものがそのままの形 (未消化) で出てくる場合が多い
  - 無臭であることが多い
- 他の動物**
  - タヌキやアライグマは強烈な匂いを発することが多い
  - タヌキは一か所に径2~3cmの、新旧異なるふんが入り混じっている (溜めふん)
  - エゾシカは径1.5cm程度の粒状で未消化物はほとんどない



ヒグマの足跡ってこれくらい自分の手と比べてみよう